

第3節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当、こども担当（地域子育て支援センター及び認定西方なかよしこども園を含む）で編成されている。

福祉担当では、福祉に係る全般的窓口として、民生委員児童委員に関する事務、日本赤十字社に関する事務、生活保護や低所得者層の援護、戦没者遺族の援護を行っている。また、障がい者支援として、身体・知的・精神障がい者手帳の交付、自立支援医療受給者証の交付、障がい福祉サービスや福祉タクシー料金助成に関する事務等を行い、豊かな社会生活を営むことができるよう努めた。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、配食サービス事業、西方ふれあいプラザ及びさくらホームに関する業務等を実施した。また、高齢者福祉関係として、緊急ホームヘルパー派遣事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当支給事業、紙おむつ交付事業等の介護予防や生活支援事業を実施した。さらに、介護保険関係として、要介護（要支援）認定申請・介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持、生活の安定等のため介護予防事業、包括的支援事業等に取り組んだ。

健康増進担当では、ライフサイクルに応じた健康づくり支援として各種健康診査、健康教育、相談、訪問事業等を実施した。母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、発達障がいの早期支援を目的としてのびのび相談、各種予防接種事業等を実施した。高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。また、各種がん検診、肝炎ウイルス、骨粗しょう症及び歯周疾患検診を実施した。がん検診推進事業で無料クーポン券を発行し、子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診の受診勧奨を図った。健康づくり事業では、生活習慣病予防推進のため、栄養や運動等に関する健康相談・健康教育事業を実施した。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、子ども手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行った。放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。地域子育て支援センターでは、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換を行い明るく楽しい子育ての支援に努めるとともに、保護者の疾病、職業訓練等により保育ができない保護者に代わって一時預かり事業を実施し、子育て支援の充実を図った。保育所では、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、延長保育事業、特別支援保育事業等の特別保育を実施し、児童福祉の向上を図った。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員18人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
11	27	—	8	2	11
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
1	3	3	107	173	9.6

(2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
158	9	203	772	1,504	2,646	147

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤社資

目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
701,000	923,000	131.7

(2) 災害による救援品配布状況 (単位：件)

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	—	—	—	—	—

(3) 災害見舞金給付状況 (単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
—	—	—	—	1

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図った。

- ・施設名 鹿沼ひまわり
- ・所在地 鹿沼市御成橋1-2278-7
- ・利用者数 1人

4 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区 分		実施状況(人)
交付者数		62
	うち高齢者(80歳以上)	35
	高齢者(65～79歳)	1
	障がい者	18
	腎臓機能障がい者	8

5 身体障がい者の現況(身体障害者手帳交付状況) (単位:人)

障がい区分	手帳所持者数	平成23年度中交付者数
視覚障がい	9	—
聴覚・平衡障がい	28	1
音声・言語・そしゃく障がい	3	—
肢体不自由障がい	112	3
内部障がい	75	5
複合障がい	10	—
合 計	237	9

6 知的障がい者(児)の現況(療育手帳交付者数) (単位:人)

区 分	障がい児(18歳未満)		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度(A1・A2)	3	2	9	4	18
中度(B1)	1	1	5	5	12
軽度(B2)	—	1	4	—	5
合 計	4	4	18	9	35

7 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	5	20.8
2 級	16	66.7
3 級	3	12.5
合 計	24	100.0

(2) 自立支援医療費(精神通院)受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、平成23年度は50人が受給した。

8 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

(単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	—	—	—	—	—	—
	義足	—	1	1	—	—	—
装具	下肢	—	—	—	—	—	—
	靴型	—	—	—	—	—	—
	体幹	—	—	—	—	—	—
	上肢	—	—	—	—	—	—
座位保持装置		—	—	—	—	—	—
盲人安全つえ		—	—	—	—	—	—
義眼		—	—	—	—	—	—
眼鏡	矯正眼鏡	—	—	—	—	—	—
	遮光眼鏡	—	—	—	—	—	—
	弱視眼鏡	—	—	—	—	—	—
補聴器	高度難聴用ポケット型	1	—	1	—	—	—
	高度難聴用耳掛け型	2	—	2	—	—	—
	重度難聴用ポケット型	—	—	—	—	—	—
	重度難聴用耳掛け型	1	—	1	—	—	—
車いす	普通型	—	2	2	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
電動車いす		—	—	—	—	—	—
起立保持具		—	—	—	—	—	—
座位保持いす		—	—	—	—	—	—
歩行器		—	—	—	—	—	—
歩行補助つえ		—	—	—	—	—	—
重度障がい者用意思伝達装置		—	—	—	—	—	—
特例補装具		—	—	—	—	—	—
合計		4	3	7	—	—	—

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付

(単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	—	—
特 殊 マ ッ ト	—	—
特 殊 尿 器	—	—

移動用リフト	—	—
訓練いす	—	—
入浴補助用具	—	—
体位変換器	—	—
便器	—	—
T字状・棒状のつえ	—	—
移動・移乗支援用具	—	—
頭部保護帽	—	—
特殊便器	—	—
火災警報器	—	—
自動消火器	—	—
聴覚障がい者用屋内信号装置	—	—
透析液加温器	1	—
ネブライザー	—	—
電気式たん吸引器	—	—
点字タイプライター	—	—
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	—	—
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	—	—
視覚障がい者用拡大読書器	—	—
盲人用時計	—	—
盲人用体温計	—	—
盲人用体重計	—	—
点字ディスプレイ	—	—
聴覚障がい者用通信装置	—	—
聴覚障がい者用情報受信装置	—	—
人工喉頭	—	—
携帯用会話補助装置	—	—
情報・通信支援用具	—	—
点字図書	—	—
ストマ用具	15	—
紙おむつ	—	1
収尿器	—	—
居宅生活動作補助用具	—	—
合計	16	1

9 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

種 別	給付決定者数(件)
視 覚 障 が い	—
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	—
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	—
免 疫 機 能 障 が い	—
肢 体 不 自 由	—
心 臓 機 能 障 が い	—
腎 臓 機 能 障 が い	2
計	2

10 各種手当の状況

種 別	給付決定者数(件)	
特定疾患介護手当	34	
重度心身障がい児扶養手当	8	
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	—
	障がい児福祉手当	1
	福祉手当（経過的）	—
特別児童扶養手当	3	

11 障害者相談支援事業

西方総合支所においては、身体障がい者と知的障がい者は、事業所に委託をし、精神障がい者は、健康福祉課で相談事業を行った。

介護高齢担当

1 高齢者人口（西方地域）

（毎年4月1日現在）

区分	年度			
	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
総人口(人)	6,963	6,887	6,793	6,684
65歳以上人口(人)	1,680	1,690	1,699	1,696
総人口に対する割合(%)	24.13%	24.54%	25.01%	25.37%

※外国人を含む人口

2 老人クラブ育成指導

西方町老人クラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、

健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

・単位老人クラブ数（西方地域）	9クラブ
・西方町老人クラブ連合会会員数	233人
・助成金額	
単位老人クラブ助成	540,000円
西方町老人クラブ連合会助成	331,000円

- 3 老人スポーツ大会（西方町老人クラブ連合会主催、事務局西方町社会福祉協議会）
個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。

輪投げ大会

・日 時	10月15日(土)
・参加者	83人
・会 場	西方小学校体育館

- 4 高齢者配食サービス事業

調理が困難なひとり暮らし高齢者、障がい者等に対し、居宅に訪問し栄養のバランスのとれた昼食弁当（1食300円）を提供することにより、利用者の健康増進を図るとともに安否確認をすることを目的に実施した。

・利用者実人数	30人
・配食個数	1,452個
・委託先	栃木市社会福祉協議会

- 5 日常生活用具購入費助成等事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

	品 目	件 数(件)
購 入 費 助 成	福 祉 車	5
	小 型 暖 房 器 具	—
	電 磁 調 理 器	1
	火 災 警 報 器	—
	自 動 消 火 器	—
レ ン タ ル 料 助 成	電 動 小 型 吸 引 機	—
	特 殊 寝 台	—
	じょく瘡予防用具	—

※合併に伴い10月から実施

- 6 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況

(単位：台)

既設置台数	23年度設置台数	23年度撤去台数	計
13	2	4	11

7 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

要介護認定3・4・5いずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。※合併に伴い10月から実施

下半期(10月～3月)	
実人員(人)	延べ支給月数(月)
68	321

8 紙おむつ交付事業

在宅の寝たきり高齢者、認知症高齢者及び重度心身障がい児(者)の方で、日常生活において紙おむつを使用している方に対して、対象者及び介護者の福祉の増進を図るために年3回10,000円(年額30,000円)のおむつ等給付券を支給した。

10月1日基準日		2月1日基準日		合計
対象者(人)	支給額(円)	対象者(人)	支給額(円)	支給額(円)
56	530,000	78	555,000	1,085,000

9 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

事業名	利用者数(人)	延べ回数等
緊急ホームヘルパー派遣事業	6	167回
軽度生活援助員派遣事業	0	0回
在宅高齢者短期入所事業	0	0日

10 西方ふれあいプラザ

西方ふれあいプラザの運営管理業務を、栃木市社会福祉協議会(西方支所)に委託(指定管理)して実施した。

- ・利用者数 1,470人
- ・利用者 主に60歳以上の高齢者
- ・開館日数 145日

11 西方さくらホーム

高齢者が、自主的に社会奉仕活動や生きがい活動、健康づくり活動等を行うことを目

的に事業を実施した。

- ・利用者数 378人
- ・開催日数 66日
- ・内 容 手工芸、介護予防教室、除草など

12 外出支援サービス事業（送迎サービス）

家庭において移送することが困難な寝たきりの方や車椅子使用の方に、医療機関への通院及び入退院に際し、福祉車両での送迎を栃木市社会福祉協議会（西方支所）に委託して実施した。

- ・利用者数 延べ244人（実人数50人）

13 心配事相談事業

市民の心配事や生活向上に関する相談に応じ、必要な指導助言を行い、広く市民の福祉を図ることを目的として栃木市社会福祉協議会（西方支所）に委託して実施した。

- ・実施回数 6回（毎月18日）
- ・相談件数 4件
- ・時 間 午後1時～3時
- ・会 場 西方保健センター
- ・内 容 合同相談（心配・困りごと・人権・行政）として実施した。

14 介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。

内 容	件数（件）	
	合併後	合併前
要介護（要支援）認定申請 相談・受付・入力	155	149
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	5	1
介護給付費過誤申立 受付・入力（過年度分のみ）	3	3
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	1	1
転入・転出・転居 資格管理等	4	4
転送希望届申請 受付・入力	1	2
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	49	49
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	—	1
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	—	—
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	4	—
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	6	20
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	7	10
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	7	5

負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	10	40
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	7	—
オムツ使用証明申請 受付・発行	1	—
介護保険事業者事故報告 受付	1	—

15 任意事業

(1) 介護給付等適正化事業

介護（予防）給付において、介護サービス利用者に介護（予防）サービスが適正に提供されているか、情報提供として「介護給付費通知書」を郵送した。（本庁一括予算で作成した通知書と西方総合支所予算で作成した通知書を、転送・転出・死亡等の確認後に郵送した。）

・送付者数 238人

(2) 家族介護支援事業

普段在宅介護に追われている介護者を対象に、介護者同士の情報交換を行うとともに、心身のリフレッシュや静養を図り、無理のない介護生活ができるよう支援することを目的に、栃木市社会福祉協議会（西方支所）に委託して実施した。

ア 国際福祉機器展見学

- ・日 時 10月5日(水)
- ・場 所 東京国際展示場（東京ビッグサイト）
- ・内 容 福祉機器の見学
- ・参加者 在宅介護者13人

イ 講演会

- ・日 時 3月11日(日)
- ・場 所 西方総合文化体育館
- ・内 容 認知症に関する講演、認知症サポーター養成研修
- ・参加者 在宅介護者及びその家族、介護職従事者、一般市民 46人

16 高齢者相談支援状況

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。

（単位：件）

区分	件数	実件数	延べ件数
面 接		78	84
電話相談			120
家庭訪問		12	17
連絡調整			54

17 地域包括支援センター事業

(1) 地域包括支援センター設置状況

西方地域包括支援センター	栃木市西方町本城1 西方保健センター2階
--------------	----------------------

(2) 介護予防事業

ア 二次予防事業

(ア) 二次予防事業対象者把握事業

西方地域に住む65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者の把握を行った。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた人を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

- ・二次予防事業対象者把握事業

チェックリストによる対象者数	203人
----------------	------

- ・介護予防サービス計画書作成状況

作成者数	9件
------	----

(イ) 通所型介護予防事業

運動器機能向上の必要性がある二次予防事業対象者に対して、運動教室、いきいきりハビリ教室を実施し、要介護状態等になることの予防及び、自立した生活を送るための支援を行った。

運動教室では、健康運動指導士が個別の運動プログラムを作成し、そのプログラムに沿って教室時や自宅での運動を対象者に3か月間実践してもらった。

いきいきりハビリ教室では、年3回理学療法士が、個別の運動プログラムを作成し、教室時にプログラムに沿って運動を行った。

- ・実施状況

	開催回数(回)	延べ人数(人)
運動教室	11	81
いきいきりハビリ教室	48	634

※合併前の実績を含む。

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発のため、運動の実践や指導、栄養士による栄養の講話や調理実習を行った。

- ・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	83	841
栄養改善	9	105
合計	92	946

※合併前の実績を含む。

(イ) 地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識を習得できる機会を設け、地域活動の人材育成や自主グループ活動支援を行った。

・実施状況

	開催回数	延べ人数
認知症サポーター養成講座	1	46人

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等になることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。

また、要支援状態等となった場合においては、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・要支援1・2の介護予防サービス計画作成状況

	件数(件)
地域包括支援センターによる作成件数	36
事業者委託件数	14
合計	50

※合併前の実績を含む。

・サービス担当者会議実施状況

	件数
地域包括支援センター主催および委託事業所実施への参加	72件

※合併前の実績を含む。

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況

	件数
地域包括支援センターによる作成件数	5件

※合併前の実績を含む。

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況

	延べ件数(件)
面接	43
電話相談	558
家庭訪問	676
合計	1,277

※合併前の実績を含む。

ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、関係機関と連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況

	件数(件)
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	-
高齢者虐待に関すること	19

※合併前の実績を含む。

エ 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における他職種との連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

健康増進担当

1 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対し母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを行い、妊婦の状態を把握し、必要に応じて面接相談を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び公布状況 (単位：人)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数		
	妊娠届出	双胎	紛失等
16	19	16	3

(2) 健康診査

ア 妊婦一般健康診査 (数値は本庁健康増進課で一括計上)

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。(母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施)

イ 妊婦歯科健康診査 (数値は本庁健康増進課で一括計上)

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減

を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がい
の相談にも応じた。

区分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	6	16	16	100	7	1	0	0
乳児健康診査 (8か月児)	6	16	15	93.8	6	2	2	0
乳児健康診査 (10か月児)	6	11	11	100	4	1	2	0
1歳6か月児 健康診査	2	27	26	96.3	6	1	1	2
3歳児 健康診査	1	14	11	78.6	2	1	1	2

エ 2歳児歯科健診及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健診及び歯科医師により講話を行った。

また、保健師による育児指導、栄養士による栄養指導を実施した。

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)
2	29	28	96.6

オ 乳幼児発達相談（二次健診）（数値は本庁健康増進課で一括計上）

乳幼児健康診査等で成長発達の遅れが認められた幼児に対し、栃木会場において、
医師による診察や相談、専門職による相談等を行い、心身障がいの早期発見・早期
療育につなげた。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

3～4か月児を対象に委託機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指
導を行うため、受診券を交付した。

(3) 健康教育

ア 両親（母親）教室

(ア) 合同開催（数値は本庁健康増進課で一括計上）

初妊婦と夫に対して妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサ
ル、お風呂の入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また先輩ママ
やパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり、乳児を身近に見たりすることによ
り、親になる自覚を促した。栃木会場において実施。栃木・都賀・西方地域で合
同開催し、栃木会場で実施した。

(イ) 西方地域単独で実施

妊婦と夫に対して妊娠、分娩等の知識を提供し、妊娠中の過ごし方、お産のリ
ハーサル、お風呂の入れ方、おむつ交換や赤ちゃんの抱き方、夫の妊婦擬似体験
などの体験学習を行った。また手作りおやつを試食し、栄養指導を実施した。

- ・参加者 5組（11人）

イ すくすく教室（子育て支援教室）

2～3か月児とその母親を対象に、よりよい母子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や母親同士の交流を図った。

- ・実施回数 3回
- ・参加者延べ数 11組

ウ 健診事後教室（ちゃいちゃいクラブ・ぺんぎん教室）（数値は本庁健康増進課で一括計上）

幼児健診等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、栃木会場にて集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木会場において実施。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

エ 思春期保健事業

小児生活習慣病を理解し、生活習慣を振り返り、健康への関心を高めるために小・中学校の児童生徒とその保護者を対象に授業協力を行った。

対 象	実施回数(回)	参加人数(人)
中学校	1 (1校)	生徒 60
小学校	2 (2校)	生徒 66、保護者 1

オ だっこだっこ絵本事業

親子のふれあいを促進し豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 3回（すくすく教室開催時）
- ・参加者延べ数 11組

カ よい歯のコンクール（合併前に終了）

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール（3歳児の部、親と子の部）を実施し、歯と口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は県の2次審査に推薦した。

キ 食育事業

(ア) 親子クッキング教室

年中～年長児の親子に対し、一緒に料理をすることを通して、食への興味・関心を育む等の食育を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 22人

(イ) わくわくクッキング

なかよしこども園の幼児・保護者に対し、健康の基礎をつくる時期にある子どもに食への関心を高め、野菜嫌いをなくすこと等、食育を推進した。

- ・実施回数 1回

・参加人数 47人

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

育児の情報交換や母親の友達づくりをすすめることにより、地域の中で心のゆとりを持って楽しく子育てができるよう支援した。また、保健師等による育児等の相談業務を行った。

・実施回数 3回

・参加者延べ数 36組

イ 5歳児発達相談（合併前に終了）

3歳児健診までに発見されにくい軽度発達障がい等について診断の有無に関わらず支援を行うとともに、適切な療育の提供や保護者への支援を行った。市内なかよしこども園において発達相談を実施した。

ウ 新生児・産婦訪問事業

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して助言指導することを目的に保健師による訪問指導を行った。

・指導実数 16件

・指導延べ数 19件

エ こんにちは赤ちゃん事業（新生児・産婦訪問指導を兼ねる）

生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師が訪問し、育児に関する不安や悩みを聴取、相談、子育て支援に関する情報提供、親子の心身の状況の把握を行った。

2 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者診査

・実施回数 個別（11月～1月）

（集団は合併前に終了）

・実施場所 西方地域医療機関

(2) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	18	4	22.2
動機付け支援	33	19	57.6
合計	51	23	45.1

※合併前の実績を含む。

3 健康づくり事業

(1) 健康教育

ア 血管つるピチ教室

・実施回数 1回

- ・参加者数 10人
- ・内容 保健師、栄養士、運動指導士による講話及びバイキング実習、運動実習
- イ 歯と運動教室
歯周病予防について講話及び運動の実践を行った。
 - ・実施回数 1回
 - ・参加者数 22人
- ウ 男性のための料理教室
メタボリックシンドローム予防のために栄養改善を図った。
 - ・実施回数 1回
 - ・参加者数 8人
- エ 健診結果説明会
 - ・実施回数 2回
 - ・参加延べ人数 161人

(2) 健康相談・栄養相談

- 心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。
- ・実施回数 4回
 - ・延べ相談者数 11人
 - ・内容 保健師・栄養士による個別相談

4 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解すること及び自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

普及啓発用リーフレットを作成し、“道の駅にしかた”において配布した。

5 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種で、他の予防接種は予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

ア 集団接種

ポリオ投与（小児マヒ）

- ・実施回数 1回
- ・実施場所 西方保健センター

イ 個別接種

BCG 三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風） 麻しん風しん（混合）

日本脳炎、高齢者インフルエンザ

(2) 任意予防接種

- ・子宮頸がん予防接種については、平成23年4月から中学1～3年生を対象とし

て個別予防接種を実施した。

- ・小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチン（平成23年4月から）を、小児インフルエンザ予防接種を各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

6 地域保健対策事業

(1) 食生活改善地区組織事業

減塩指導やバランス食等について講話及び調理実習を行った。

- ・実施回数 4回
- ・参加延べ人数 58人

(2) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・訪問世帯数 81世帯
- ・保健師訪問指導 88人（延べ人数）

精神保健	14	妊産婦	5	乳幼児	10	生活習慣病	9
新生児	11	低体重児	-	他の疾患	-	その他	25
心身障がい	5	乳児	9				

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、西方地域2か所の小学校区内において実施した。

- ・学童保育入所者数 (単位:人)

学年	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学童保育名												
西方児童クラブ（西方小）	3	3	6	5	5	10	6	9	15	14	17	31
真名子児童クラブ（真名子小）	1	1	2	2	2	4	1	3	4	4	6	10
計	4	4	8	7	7	14	7	12	19	18	23	41

2 地域子育て支援センターにしかた

(1) 利用者数 (単位:人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
23年度	12	83	60	73	3	0	0	208	439

(2) 活動状況

ア 定例遊び

なかよしひろば

- ・実施日 月3～4回
- ・実施時間 午前10時30分～11時30分
- ・実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。
- ・実施回数 計20回
- ・延べ参加者 318人

イ 特別活動

(単位：人)

No	活動名	参加人数
1	親子で布絵本を作ろう	25
2	子どもを事故から守ろう	13
3	みんなで元気に風邪予防	12
	合計 3回	50

ウ 子育て相談

(単位：件)

相談内容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	0	0	0
排泄に関すること	おむつはずし、便秘 ほか	5	5	0
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き眠りが浅い ほか	0	0	0
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達、健康 ほか	0	0	0
ことばに関すること	発語が遅い・幼児語 ほか	2	2	0
対人関係	他の子とのかかわり ほか	0	0	0
その他	性格・育児依頼・入園・病気・親のストレス・家庭環境・祖父母との関わり ほか	14	11	3
合計		21	18	3

エ 一時預かり

保育園名	延べ利用者数(人)
栃木市西方保育園	24

3 子ども手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に支給を行った。

- ・子ども手当受付件数 37件

4 赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、第二子以降のお子さんが誕生した家庭に、誕生祝金を交付した。

事業名	祝金額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	6
	第三子以降 20,000円	2

5 チャイルドシート購入費助成事業

子どもを乗車中の事故から保護し、健やかな成長を助長することにより、児童福祉の増進を図るため、チャイルドシート購入費を助成した。

- ・助成額 購入費の1/2以内の額
限度額5,000円
- ・受付件数 8件

6 児童扶養手当

父母の離婚や死亡などによって、父または母と生計を同じくしていない児童や父または母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的として支給を行った。

種別	受付件数(件)
児童扶養手当	1

7 保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の理由により、家庭において充分児童を保育することができない場合、保護者に代わり一般家庭と同様に保育することにより、その心身の健全な発達、育成を図った。また、子どもを取り巻く社会現象の変化に対応し、地域における子育て支援のため、乳幼児などの保育に関する相談や助言を行った。

(1) 保育所入所状況

ア 児童定員・異動状況

(単位:人)

区分	保育園名	定員	23年10月1日 入所児童数	途中入所 児童数	退所児童数	24年3月1日 入所児童数
公立	栃木市西方保育園	90	90	6	4	92

イ 階層別児童数（3月1日現在）

（単位：人）

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	計
公立	栃木市西方保育園	0	5	6	55	22	4	0	92

※階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分（旧西方町階層）

ウ 年齢別児童数（3月1日現在）

（単位：人）

区分	保育園名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計
公立	栃木市西方保育園	3	8	13	26	42	92

(2) 施設運営全般

施設運営上の目標

- ・ 幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
- ・ 幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
- ・ 保育内容の充実と技術の向上
- ・ 安全対策と保護者との対応
- ・ 地域における子育て支援

(3) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区分	回数(回)	実施月	結果と措置
健康診断	2	4月・9月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	4月・9月	結果については、保護者連絡

イ 検便等の実施状況

区分	回数(回)	実施日	結果と措置
寄生虫卵	2	5月26日(木)・9月5日(月)	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	5月26日(木)・9月5日(月)	結果については、保護者連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ア) 観察

登園時、園児受け入れの際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(イ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ウ) 伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

- ・ 発生件数 なし

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

- ・明るく元気に遊ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・自ら考え工夫する子

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき保育課程、年間指導計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主な行事
4月		入園式
5月	こどもの日	親子遠足
6月	歯の衛生週間、時の記念日	歯磨き指導、保育参観、プール開き
7月	七夕飾り、海の日	夏祭り、クッキング（年長児）
8月		
9月	防災の日、敬老の日	
10月	体育の日	運動会、クッキング（年長児）
11月	七五三	保育参観
12月	師走	なかよし発表会、クリスマス会
1月	お正月	人形劇観賞、小学校との交流会（年長児）
2月	節分	まめまき会、年長児遠足
3月	ひなまつり	防犯教室、お別れ会、卒園式

※ その他、毎月誕生児の誕生会、避難訓練、隔月に身体測定を実施

エ 特別支援保育の状況

- ・特別支援児入所数

保育園名	人数（人）
栃木市西方保育園	1

- ・保育方法 混合保育で実施

オ 低年齢児保育（0、1、2歳児）（3月1日現在）（単位：人）

区分	保育園名	0歳児	1歳児	2歳児	計
公立	栃木市西方保育園	3	8	13	24

カ 保護者との連携

- ・保育参観
- ・送迎時の連絡
- ・子育て等相談

(5) 防災対策の状況

- ・設備、遊具等の整備点検
- ・避難訓練（火災、地震）
- ・安全のための実施訓練（不審者侵入）

・事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的に実施

(6) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の給食会議にて決定する。

イ 給食構成

- ・乳児 主食、副食、おやつ（午前、午後）（完全給食）
- ・幼児 主食、副食、おやつ（午後）（完全給食）

ウ 1日当たり平均栄養摂取量状況

(ア) 3歳未満児（主食及び副食＋おやつ） (平成23年度平均)

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
栃木市西方保育園	501	18.3	17.2	291	1.7	396	0.26	0.46	20.8	1.7
栄養給与目標	470	18.0	13	200	2.3	200	0.25	0.3	20	

(イ) 3歳以上児（主食及び副食＋おやつ） (平成23年度平均)

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
栃木市西方保育園	552	20.7	18.4	299	2.0	469	0.29	0.49	25	1.9
栄養給与目標	570	21	16	270	2.5	200	0.32	0.36	20	

(7) 特別保育科目設定実施事業

世代間交流事業

季節的行事（クリスマス会）に地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

保育園名	実施回数
栃木市西方保育園	1回